

天満宮 所在地：南恩加島 1-13-41

天保7年(1836)、南恩加島の開拓者三代目岡島嘉平次が道明寺天神(祭神は菅原道真)の分霊を産土神として、平尾町に近い木津川沿岸に奉斎したのが起源といわれる。明治43年11月、下八阪神社に合祀されたが、氏子の反対で社殿はそのまま存続、戦災で炎上したのにも屈せず再建し、戦後独立の神社となった。昭和33年4月、都市計画により現在地に移った。

